

平生町告示第26号

平成21年第5回平生町議会臨時会を、次のとおり招集する。

平成21年7月8日

平生町長 山田 健一

1 期 日 平成21年7月15日

2 場 所 平生町議会議事堂

3 付議事項

- (1) 平成21年度平生町一般会計補正予算
- (2) 平成21年度平生町簡易水道事業特別会計補正予算
- (3) 平成21年度平生町下水道事業特別会計補正予算
- (4) 物品の買入れについて

応招した議員

河藤 泰明君	大井 哲也君
岩本ひろ子さん	田中 稔君
淵上 正博君	藤村 政嗣君
細田留美子さん	柳井 靖雄君
吉國 茂君	平岡 正一君
河内山宏充君	福田 洋明君

応招しなかった議員

平成21年 第5回(臨時)平生町議会 会議録(第1日)

平成21年7月15日(水曜日)

議事日程(第1号)

平成21年7月15日 午前9時00分開会

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 諸般の報告
- 日程第4 議案第1号 平成21年度平生町一般会計補正予算
- 日程第5 議案第2号 平成21年度平生町簡易水道事業特別会計補正予算
- 日程第6 議案第3号 平成21年度平生町下水道事業特別会計補正予算
- 日程第7 議案第4号 物品の買入れについて

本日の会議に付した事件

- 日程第2 会期の決定(1日)
- 日程第4 議案第1号 平成21年度平生町一般会計補正予算
- 日程第5 議案第2号 平成21年度平生町簡易水道事業特別会計補正予算
- 日程第6 議案第3号 平成21年度平生町下水道事業特別会計補正予算
- 日程第7 議案第4号 物品の買入れについて

出席議員(12名)

- | | |
|------------|------------|
| 1番 河藤 泰明君 | 2番 大井 哲也君 |
| 3番 岩本ひろ子さん | 5番 田中 稔君 |
| 6番 淵上 正博君 | 7番 藤村 政嗣君 |
| 8番 細田留美子さん | 9番 柳井 靖雄君 |
| 10番 吉國 茂君 | 11番 平岡 正一君 |
| 12番 河内山宏充君 | 13番 福田 洋明君 |

欠席議員(なし)

欠 員(なし)

事務局出席職員職氏名

局長 藤田 衛君 書記 岩井 浩治君

説明のため出席した者の職氏名

町長 山田 健一君 副町長 佐竹 秀道君
教育長 高木 哲夫君 会計管理者 岩見 求嗣君
総務課長 吉賀 康宏君 総合政策課長 角田 光弘君
町民課長 安村 和之君 健康福祉課長 河野 孝之君
経済課長兼農業委員会事務局長 中本 羊次君
建設課長 洲山 和久君 学校教育課長 福本 達弥君
社会教育課長 木谷 巖君

午前9時00分開会・開議

議長（福田 洋明君） ただいまの出席議員は12名であります。定足数に達しておりますので、これより、平成21年第5回平生町議会臨時会を開会いたします。

直ちに、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりであります。

・ ・

日程第1．会議録署名議員の指名

議長（福田 洋明君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第109条の規定により、議長において、河藤泰明議員、大井哲也議員を指名いたします。

・ ・

日程第2．会期の決定

議長（福田 洋明君） 日程第2、会期の決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は、本日の1日間といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（福田 洋明君） 御異議なしと認めます。よって、会期は1日間と決しました。

・ ・

日程第3．諸般の報告

議長（福田 洋明君） 日程第3、諸般の報告をいたします。

諸般の報告につきましては、地方自治法第121条の規定による本臨時会における議案等の説明のため出席を求めた者及び委任を受けた者の職氏名の報告は、お手元に配布のとおりであります。

これをもって、諸般の報告を終わります。

日程第4．議案第1号

日程第5．議案第2号

日程第6．議案第3号

日程第7．議案第4号

議長（福田 洋明君） 日程第4、議案第1号平成21年度平生町一般会計補正予算の件から日程第7、議案第4号物品の買入れについてまでの件を一括議題といたします。

町長から提案理由の説明を求めます。山田町長。

町長（山田 健一君） 議員の皆さんおはようございます。

今年、当地方は6月9日に梅雨入りをいたしました。その後、高気圧に覆われ、晴れが続いたことで農作物への影響が出ないかと心配していたところでありましたが、最近になり、ようやく梅雨前線が活発になったことから、6月下旬以降においては降水量及び日照時間も平年並みとなってきたところであります。

今、梅雨の末期を迎えまして、梅雨前線も活発化することが予想されます。集中豪雨などに対する危機管理体制に万全を期するよう、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

そのような夏本番を前にいたしました本日、第5回平生町議会臨時会を開催いたしましたところ、議員の皆様方におかれましては御多忙中にも関わりませず、全員の御出席を賜りまして誠にありがとうございます。

このたび、御提案を申し上げます議案は一般会計の補正予算1件、特別会計の補正予算2件、事件として物品の買入れについて1件でございます。

それでは、各議案につきまして、順を追って御説明を申し上げます。

まず、議案第1号平成21年度平生町一般会計補正予算であります。

補正額といたしましては、4億43万2,000円で、予算総額は50億8,223万2,000円となるものであります。今回の補正予算は国の経済危機対策の一環として、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業、地域活性化・公共投資臨時交付金を活用した平生小学校の改築事業、子育て応援特別手当事業、女性特有のがん検診推進事業の大きく4つの事業で構成されております。

歳出から申し上げます。

10ページの情報通信費では、経済危機対策臨時交付金事業といたしまして、現行の住民情報システムが平成22年12月末をもって、メーカーからのサポートが終了するため、新たに住民情報システムを更新する必要がありますので、更新に要する費用といたしまして委託料を計上いたしております。また、職員が公務で使用しております事務用のパソコンの中で、平成14年度に購入し、使用年数が6年以上経過しているものについては、不具合も多く発生していることから、更新するため、費用を計上いたしております。

庁舎管理費では、経済危機対策臨時交付金事業といたしまして、国の補助事業で整備を予定しております、Jアラート全国瞬時警報システム設置事業に対応する事前改修といたしまして、防災行政無線親局の設備更新の費用を計上いたしております。

交通安全対策費では、経済危機対策臨時交付金事業といたしまして、人島地区の中川沿いの町道へガードレールを設置する費用を計上いたしております。

老人福祉総務費では、経済危機対策臨時交付金事業といたしまして、老朽化した老人福祉センターの給湯設備の整備費用を計上いたしております。

福祉医療対策費では、経済危機対策臨時交付金事業といたしまして、福祉医療制度の見直しにより、新たに福祉医療受給者管理システムを構築する経費を計上いたしております。

11ページの児童環境づくり推進事業費では、経済危機対策臨時交付金事業といたしまして、佐賀児童クラブと子育て支援センターのエアコン設置経費を計上いたしております。

子育て応援特別手当事業費では、国の1次補正の事業として、小学校就学前3年間に属するすべての子どもに一人当たり36,000円の子育て応援特別手当を支給するもので、全額、国の経費で事業実施するものであります。

12ページの予防費では、経済危機対策臨時交付金事業といたしまして、新型インフルエンザ対策としてマスクや防護服、消毒液などの感染を防止する物品の購入などに要する経費を計上いたしております。

13ページにかけましての、健康づくり推進事業費では、国の1次補正の事業として、女性特有のがん検診推進事業といたしまして、子宮頸がんと乳がんの検診の促進を図るための経費を計上いたしております。こちらも全額、国の経費で事業実施するものであります。

また、経済危機対策臨時交付金事業といたしまして、自動血圧計の購入費を計上いたしております。

保健センター運営費では、経済危機対策臨時交付金事業といたしまして、保健センターの内壁のクロスがはがれておりますので、補修に要する経費を計上いたしております。

土地改良事業費では、経済危機対策臨時交付金事業といたしまして、西分地区の農道補修の経

費を計上いたしております。

14ページの漁港建設事業費では、経済危機対策臨時交付金事業といたしまして、尾国地区の陸こうの整備といたしまして、現在の差板をステンレス製の横引きゲートに改修する経費を計上いたしております。

商工振興費では、経済危機対策臨時交付金事業といたしまして、プレミアム付商品券発行のための商工会への補助金を計上いたしております。

観光費では、経済危機対策臨時交付金事業といたしまして、老朽化した大星山展望台の外壁を改修するための経費を計上いたしております。

15ページの道路橋梁維持費では、経済危機対策臨時交付金事業といたしまして、中川橋の改修経費を計上いたしております。

道路橋梁新設改良費では、経済危機対策臨時交付金事業といたしまして、尾国地区の町道改良のための経費を計上いたしております。

河川維持改良費では、経済危機対策臨時交付金事業といたしまして、曾根地区の和田川のしゅんせつ工事の経費を計上いたしております。

16ページの下水道整備費では、下水道事業特別会計で経済危機対策臨時交付金事業を実施するための、繰出金を計上いたしております。

消防施設費では、経済危機対策臨時交付金事業といたしまして、消防ポンプなどの消防用機材の購入費用を計上いたしております。

17ページの小学校費の教育振興費では、文部科学省のスクール・ニューディール構想におきまして、学校の情報通信技術環境整備事業として学校へのデジタルテレビの購入やコンピュータールームなどのパソコン整備の費用などを計上いたしております。これにつきましては、国庫補助金の学校情報通信技術環境整備事業補助金と経済危機対策臨時交付金を財源としております。

給食費では、経済危機対策臨時交付金事業といたしまして、深皿の給食用食器と専用の食器消毒保管機の購入費を計上いたしております。

学校建設費では、国の1次補正におきまして地域活性化・公共投資臨時交付金が創設されたことにより、地方負担額の大幅な軽減が図られることから、平生小学校普通教室棟第1校舎の改築事業を実施することとなり、今回の予算補正におきましては、主に設計の委託料と仮設校舎の借上料を計上するものであります。

18ページの中学校費の教育振興費では、小学校費の教育振興費と同様に、学校の情報通信技術環境整備事業として、デジタルテレビなどを購入する経費を計上いたしております。

給食費では、経済危機対策臨時交付金事業といたしまして、小学校費と同様に、深皿の給食用食器などの購入費を計上いたしております。

幼稚園費では、小学校費や中学校費と同様に学校の情報通信技術環境整備事業として、デジタルテレビを購入する経費を計上いたしております。

19ページの公民館費では、経済危機対策臨時交付金事業といたしまして、佐賀公民館の会議室に設置しております、放送機器の更新費用を計上いたしております。

20ページの保健体育施設費では、経済危機対策臨時交付金事業といたしまして、武道館のトイレを洋式に改修する経費とステージの天井の改修経費を計上いたしております。

上水道企業費では、石綿管の更新工事に要する経費として田布施・平生水道企業団への工事負担金を計上いたしております。

簡易水道事業費では、簡易水道事業特別会計で、経済危機対策臨時交付金事業を実施するため、繰出金を計上いたしております。

それでは続きまして、歳入について御説明を申し上げます。

8ページの国庫補助金につきましては、国の1次補正関連に伴います各種事業の補助金を計上いたしております。地域活性化・経済危機対策臨時交付金につきましては、1億5,099万5,000円を計上いたしております。地域活性化・公共投資臨時交付金につきましては、学校建設費の国庫補助金を除いた事業費に充当できるものであります。

9ページの財政基金繰入金につきましては、経済危機対策臨時交付事業の一般財源充当分でございます。

町債では、平生小学校普通教室棟改築のための設計費と仮設校舎の借上料に対する起債でございます。

前にもどりまして、5ページの第2表、地方債補正につきましては、学校建設費に要する地方債によるものでございます。

以上で議案第1号平成21年度平生町一般会計補正予算の説明を終わらせていただきます。

続きまして、議案第2号平成21年度平生町簡易水道事業特別会計補正予算について御説明を申し上げます。

補正額は、350万円を追加し、予算総額は5,734万4,000円となるものであります。

今回の補正予算は、7ページの歳出であります。施設管理費につきましては、経済危機対策臨時交付金事業として、停電時の緊急対応としての発電機などの購入経費を計上いたしております。

続きまして、議案第3号平成21年度平生町下水道事業特別会計補正予算について御説明を申し上げます。

補正額は35万6,000円を追加し、予算総額は6億6,438万8,000円になるものであります。

歳出ですが、7ページの下水道管理費につきましては、経済危機対策臨時交付金事業として、

マンホール点検時の事故を未然に防止するため、硫化水素測定器と送風機の購入経費を計上いたしております。

以上で、平成21年度各会計の補正予算の説明を終わらせていただきます。

続きまして、議案第4号の物品の買入れについて、御説明申し上げます。

本物品は、昭和62年度に配備いたしております、平生町消防団本部の消防ポンプ自動車につきまして、老朽化をしていることから、平成20年度の3月補正予算におきまして、地域活性化・生活対策臨時交付金活用事業として御議決をいただき、平成21年度に予算を繰り越し、購入を予定しているものでございます。

今回、導入予定の消防ポンプ自動車につきましては、去る7月7日に入札に付しましたところ、株式会社ハツタ山口が1,575万円で落札いたしました。

本物品の予定価格が700万円以上の動産でございますので、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定によりまして、議会の御議決をお願いするものでございます。

なお、消防ポンプ自動車につきましては、業者へ発注後、ベース車両の手配及び消防ポンプや装備品を積載するための艀装に相当な時間を要するため、早期の契約が必要であることから、今回御提案させていただくものであります。

以上をもちまして、本日御提案申し上げます議案の提案理由説明を終わらせていただきます。

なお、説明不足の点もあろうかと存じますので、皆様方の御質問によりまして、私並びに説明出席者によりお答えをいたしたいと存じますので、よろしく御審議をいただき、御議決を賜りますようお願いをいたします。

議長（福田 洋明君） これをもって、提案理由の説明を終わります。

これより、提出議案に対する質疑に入ります。

まず、議案第1号平成21年度平生町一般会計補正予算について質疑を行います。補正予算全般と、歳入は一括、歳出は款ごとに質疑を行います。

一般会計補正予算全般についての質疑はありませんか。吉國茂議員

議員（10番 吉國 茂君） もろもろのいろいろな積み残したような事業を、いろいろと積み上げてきておられますが、地域活性化という面では、ある程度活性化するのかなと思うのですが、経済危機対策の面で、この事業を打たれたことによって、どのくらい地元業者とかそういったものの下支えを計画されておるのか、これが1点であります。それから、その上でどのくらい重点を置かれて出されてきたのかということが第1点目。

2点目はいろいろとシステムの更新、業務を何年までとか言って、かなりの額が次々出てきま

す。おそらく、ここでもマイクロソフトの、会社名を上げたらいけないかもしれませんが、そのシステムを使っておられます。これも年々新しいのが出てきます。やりきれなくなります。おそらく今のエクセル関係でも、ワード関係でも早晚使えなくなるということが考えられます。その対策というのはここで検討されていないのかどうか、その辺をちょっとお聞きしたいと思います。

議長（福田 洋明君） 山田町長。

町長（山田 健一君） まず、総論として地域活性化・経済対策臨時交付金、地域活性化・公共投資臨時交付金、この2本が中心でどちらも地域活性化が頭についております。公共投資臨時交付金のほうは、御承知のとおり学校の耐震化にこれは持っていこうと、経済危機対策臨時交付金についてはもろもろの事業について、先ほど説明させていただきましたような形で、できるだけ耐震化の場合はかなり期間も限られているし、集中的に取り組まなければいけない。しかし、それでもこの前も一般質問がありましたように、できるだけ地域への波及効果というのを念頭において、地域で消化していけるものについては、そういう配慮をしていこうということはベースにまず置いてあります。それから、その他の経済危機対策で、いろんな今もろもろの事業を予定しておりますが、考え方として、まず地元で消化していけるものについては、基本的に波及効果を考えてやっていこうと、そこをまず前提にして、この作業を進めてもらったということが一番の前提です。

情報システムの今回の更新等につきましては、これはまた大変大きな問題ですけれども、検討については十分我々も今年に入って、22年度末でサポートが打ち切りというような話もありましたので、担当課を中心に議論をしっかりと今日までしてきたつもりでございますけれども、担当課長の方から答弁をさせたいと思います。

議長（福田 洋明君） 吉賀総務課長。

総務課長（吉賀 康宏君） 今のシステムの更新等につきましての検討でございますが、今、町長が申しましたとおり、今の状況においては幾度も検討を重ねて、このたび御提案をさせていただいたところでございます。基本的には、システムについては、いろんな会社のメーカーのシステムもございますし、当然先ほどおっしゃったようなソフト関係、また、OS関係、これについては、開発のほうは、我々が取り組む以上に進んでおりますので、なかなかそれに追いついていないというのが現状にはあると思います。そういった中で、いかに安く、効率よく、職員の負担にならないような対応をしていきたいというのが、今までの取り組みの状況でございます。また内容的には先ほども町長からも提案がありましたとおり、そういったことを踏まえて、このたび、このシステムについては提案をさせていただいたというふうにも思っております。

将来的に例えば、コンピュータにしてもパソコンにしても、今の状況で言いましたら、国も県もまた自治体もそうでございますが、今の状況の中で、先ほど言いましたように、いかに対応し

ていくかというのが、今からの大きな課題でもございます。今後についても、この辺は十分検討しながら、協議をしながら、皆様方の御協議を申し上げながら対応、取り組み、御提案をさせていただきたいというふうにも思っております。よろしくお願いいたします。

議長（福田 洋明君） 吉國茂議員。

議員（10番 吉國 茂君） もう出されてきておることですから、今後の課題として、まず、例えばいくら公共事業とか何か打ってもですね、もともと体が大きいのに、節税して、その会社が基本しか払ってないようだったら、いくら打ってもだめな、潤うのは潤うけど、住民税として入ってこない場合もあります。そういった計算もされて、どういう業種でどういう対策を打ったときに、どうなるのかという、僕がよく言うデータベース化、データを蓄積しておく必要があると思いますので、それはこうなって、事業が来たからぱっとやるというのはまず無理な話です。日頃からそういう研究をしていただきたい。これがこの面の要望です。

2点目、ソフトは新しい会社は何ぼでもソフトを変えてきますよ、これは儲かるから。使ってもらったら困るんですよ。こっち側が賢くならないといけないわけですよ。自分の企業とかを言ったらいけません、企業なんかというのは、ビスタなんかマイクロソフトが使えなくなっても、あと何年までというようなマイクロソフト社と話して、裏面でもう変わっても大丈夫というようなシステムを今回取り入れています。別ウインドウズで立ち上げるようにしています。今度は何が新しいのが出てきても大丈夫という、賢くならないと毎回毎回こういうのをやりよったら、それは金がいくらあっても足りないですよ。その辺のお互いに、そういうような研究し合う必要があるので、今後こういう更新業務がいつあるんだというようなのを系統化していただきたい。これを出していただきたい。これは要望で結構ですので、今後の課題として、取り組んでいただきたいと思います。いいです。

議長（福田 洋明君） ほかに質疑はありませんか。河内山宏充議員。

議員（12番 河内山 宏充君） まず、他市町に先駆けられまして、第3次補正の予算を迅速に対応をとられたということは、私、町長さんまた町行政の方に敬意を表させていただきます。ただ、これから申すのは、最大公約数をどこに置くかというスタンスで少しお尋ねをしたいと思います。まずそれに至るまでに、全般ということですので、まず、ちょっと気付きなんですけど、全協の時の資料と議案の説明の文言が多少違うということ。これは少し気付き、どうか一致、議会運営委員会のほうでまたお話があると思いますが、多少なりとも気付きましたので、そのことをどうされるかというのをまた議会運営委員会のほうを含めてお話をできればしていただきたいと思います。この予算書のほうが、住民の皆さん町民の皆さん方に公表したものだということですので、あくまでもこのほうが基本のスタンスではないかと私自身思っておりますので、後は議会の議運の皆さん方とお話ししていただきたいというのを冒頭にあって申し上げさせていただ

きます。

それと、まず地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業ということなんですけれども、予算の項目を大きく分けると、工事請負費、備品購入費、それからシステム、それと諸支出金、この大きく4つに分かれると思うんですね。そうすると、工事請負費の方が約4,000万円、備品購入も約4,300万円弱ですね。あわせて8,300万円弱。そうすると、まず1点目に、これは入札をされると思うのですけれども、今後、交付金をからめての事業をやる時の入札減に関する行政のほうの対応というのは、どのようになるかというのがちょっと心配になるわけです。定額給付金のように国に返すかどうかというような問題もあります。その辺のところをちょっとお知らせしていただきたい。

それと、この事業に関しましては、町の力の発揮のしどころだというふうに、随分とマスコミとかそういった内閣府も実例集等をいろいろと自由に使われるんですよと、151ぐらいの実例を内閣府のホームページで公表しておりました。私もそうは思うのですけれども、そうすると今言われた身近な問題、まず地元で償還が前提、これもあるんですが、一方で将来にわたる基本的なソフト面もやっぱりこの事業で活用すべきではなかったのかな。私、実はそういう面も個人的には考えをもっておまして、いろいろとそういう面では、平生町の一般廃棄物の処理基本計画とか、佐賀漁港の整備計画とかいろいろと積み残した計画の問題がありますですね。また、地籍の調査とか、ずっと佐賀のほうには来ておりませんですね。そういったものというのは、少しこの事業を活用してその経済活性化の下支えとなるべき事業を、やはりある程度考えていらっしゃるだろうと、私なりにそういう判断のもとにしてたものですから、その辺のところのお話がどうだったのかということとあわせて、このたびこういう身近な問題のところで対応されたということの御判断を、どのように町長さんがされたかということもお尋ねしておきます。

それと3つ目なんですけれども、工事請負費、備品購入費、今まで集中改革プラン等で積み残した、先ほども吉國議員さんの中にお言葉も少しありましたけれども、積み残してきたというような、私も実際そう思います。これ申請するのに実施計画、9月の末までですかね、早いうちにやっていただいたことは大変評価いたしますが、もう少し精査される時間も一方ではあったのではないかと、そのことを優先すれば時間的な経過というのは当然、目をつぶるといふか、どちらを優先、判断にするかということで、もう少し精査されてもよかったのではないかと思います。そうすると平生町全体の基本構想から基本計画から、それとこの交付金の事業にわたる実施計画から少しお時間、もう少しあった方がいいのではないかと今思いましたものですから、その事もあわせて少し町長さんの所信を御説明していただければと思います。以上です。

議長（福田 洋明君） 山田町長。

町長（山田 健一君） まず第1点目の入札減の対応でございますが、この交付金のあれがあ

りましたように、1億5,000万円が経済危機対策の平生町分ということで、1億7,000万円ぐらいでしたが、今回、1億8,000万円事業費としては組まさせていただきます。どの程度入札減が出るかはわかりませんが、できるだけ十分活用していけるような考え方を前提に、この今回の対応をさせていただいたということで今考えております。

それから、今回のこの取り組みについてはかなり国のほうも矢継ぎ早に景気対策ということで、どんどん去年から御承知のような補正、それからすぐ新年度予算、それからまた補正という格好で打ち出してきておりました、できるだけ各課でいろんな懸案となっております課題、こういうものをしっかり各課で精査をまずしてもらおうと、そしてぜひこの交付金を活用してやっていけるような事業をこの際、財政が厳しいという状況の中で、住民にもいろいろ肩身の狭い思いをしている部分があるかもしれません。そういうところをしっかりと洗い出して、できるだけ活用できる分には、活用していこうと、こういう基本的な考え方のもとにこの作業を進めさせていただいて、最終的にはそれらをかなりオーバーした部分がありましたけれども、精査をさせていただいて、最終的に補正としてまとめさせていただいたという経緯でございます。

それから特に全体の基本的な構想なり、そういうものとの関わりで言えば、特に今回は、この公共投資臨時交付金を活用させていただきましたように、学校の耐震化についても計画はもってございましたけれども、これは前倒しで今回実施をさせていただくと、これは極めて異例のことだとは思いますが、安全・安心のまちづくりを進めていく上で、一番まず子供たちの安全を確保していくためにこれが活用できるのであれば、この際、活用していこうと、これが一つ。それからもう一つは、中学校もそのとおりですが、防災の拠点という位置づけもありますので、できるだけ、繰り越しという格好になっておりましたけれども、できるだけ早く実施をしていきたいということで今回の取り組みをさせていただきました。安全・安心のまちづくりという一つの大きなテーマのもとにこの取り組みをさせていただいておるということで御理解をお願い申し上げたいと思います。

議長（福田 洋明君） 河内山宏充議員。

議員（12番 河内山 宏充君） 私、公共投資交付金事業のほうに関しては一言も質問をしてなかったと思うんですけども、交付金事業のほうでというふうに、私、前置きをしていたのですが、町長さんのほうからお話がありました。このことを、少しお話しさせていただきたいと思います。公共投資交付金、学校の建設に係るものですね。そうすると、実施計画等については全協等また委員会についても、御説明はいただいたんですけども、基本的に建てかえ、改修ということですから、全体計画、例えば子供たちの推移がどうなるのか、それとか町に隣接する遊休地の活用とかそういうものを含めて学校全体、平生町の子供たちをどう育てるか、そういう話が全然今まで、私の記憶間違いなのかどうなのか、一向に話がなかったかのように記憶している

ものですから、せっかく町長さんのお話がありましたから、私もそれに乗って御発言をしましたけれども、例えば、いきなりやると、もっと前倒しされるにしても、あらかじめベースの基本計画はあると思うんですね。それがなしに、いきなり建てかえるという大きな理念、目標のところからスタートされていかれたんじゃないかこのたびの場合は思います。もうワンクッションおかれた基本計画、平生の子供たちをこういう場所でこういう集う場所で、やるというようなお話とか、推移ですね、多少私の考え違いかもしれないですけど、そのこともせっかくお話が出ておりましたので、今までの経緯を少し含めてせっかくですからお尋ねをさせていただきたいと
思います。以上です。

議長（福田 洋明君） 山田町長。

町長（山田 健一君） 耐震化計画に係る部分ですから、教育長のほうからお答えを頂けるものと思っております。

議長（福田 洋明君） 高木教育長。

教育長（高木 哲夫君） それでは公共投資の交付金に絡んで、今回補正をお願いしている関係、あるいはまた、学校の施設全体の基本構想に係る御質問をいただきました。これまで、学校施設の耐震化については、耐震化を進めていくという形の中で、計画を立てて公表しておるのは御承知のことと思いますが、それをいかに何年度にどういう形でやっていくかということにつきましては、前年度の国の補正予算を財源として、第2次診断等に実行段階に入っておるところで、このままといいますが、21年度に国の補正予算がなかったとすれば、22年度に中学校の屋内運動場から耐震補強で進めていくというところで、計画をもっておったわけでございます。当然、学校につきましては、平生小学校が一番古くて昭和41年の建設ですからもう既に40年以上経過しておるという中で、学校の施設全体についての今後の構想については、当然御指摘のように教育委員会として持っておくべきであったとは思いますが。

しかしながら、昨今の経済情勢等を踏まえた場合に、なかなか実施段階というのが難しいということもございますので、耐震化、耐震補強という面で進んでおったところでございます。今回の予算措置については、先般も申し上げましたように、耐震化を進める上で絶好の機会という捉え方をして、平生小学校の普通教室棟の建てかえを計画をし、お願いをした経緯がございます。本来なら、当然、学校の全体をどうするかと、周辺を含めてそういう計画をもった上で、建てかえであるなら、建てかえをすべきであるというのは、おそらくどなたのお気持ちの中にもあろうと思っております。私にもございます。

しかしながら今回のこの財源措置を、そういうベースがないから見逃して、それぞれ単独で後年度にやるのがベターなのか、あるいは間に合う限り全力で努力をして、少なくとも全体にかかわらず、一部でもやっていくことができるのか。そこは非常に私どもも判断に苦慮したところ

でございますけど、この予算を使わない手はないというのが結論でございます。

しかし、全体に係る工事ができていくのかということになりますと、21年度限りということから考えますと、平生小の規模であれば、当然2年3年ということを考えて、長期スパンでそういう建てかえなら建てかえを進めていかなければできない施設であろうと思います。単年度でのことということになれば、やはり子供たちの教育環境を守っていくということから、普通教室棟の建てかえというものを選択し、このたび設計費の予算、あるいはまた仮設校舎の予算をお願いしておりますけど、短期間の中でできる限りのことをしていきたいという思いで、取り組んでまいりたいと思っております。

本来でございましたら、全体構想を立てた上で、実施に移すところが当然の方法であろうと思っておりますけど、この度のこういう財源措置については、それだけの余裕がないというところで御理解を頂けたらというふうに思います。

議長（福田 洋明君） 河内山宏充議員。

議員（12番 河内山 宏充君） 話が随分と、私が最初お聞きしてなかった交付金のほうとは、学校のほうにいったのを、どうやって戻そうかと思うのですが、学校のほうは私もそう思います。

だけど、全体をやっておかないと将来に渡ってお互いに説明できないのではないかと思うんですよ。そのことが一番問題なというわけで、それを変な話、つまみ食いしようかどうかと、今それを選択したというお互いの共通の認識の中でやりましょうという私のスタンスですので、例えば、今まで山の上にある某道なんかもですね、いろいろと作ったのはいいがどうなのかと。いろいろとやっぱりそれなりの評価をして、やっぱり一緒に取り組んでいかないとだめだろうと思うんですよ。よく夢のようなお話だと、それは確かにその当時とすれば甘いとかってですね、そういうことで表現されますけれども、皆さん方が将来に渡って、きちんとしたスタンスで皆さん方に説明できるようなものをつくりましょうというスタンスですので、私の発言が多少伝わっていなかった、私の言葉不足のせいかもしれませんけど、そのことだけはどうぞお伝えをしておいて、また話しをさせていただいて質問は終わります。以上です。

議長（福田 洋明君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（福田 洋明君） 質疑なしと認めます。

次に、歳入について質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（福田 洋明君） 質疑なしと認めます。

続きまして、歳出について質疑を行います。

まず、総務費について質疑はありませんか。河内山宏充議員。

議員（12番 河内山 宏充君） パソコンの処理についてなんですけど、いつか吉國議員さんもお尋ねになられたと思うのですけれども、本体の中にディスクドライブがあって、いろいろと情報というものが入っています。そうするとリースの物とかいろいろな形態でやっていらっしゃると思うのですけれども、ここ総務費の中で平成14年購入のものが6年以上たっているのというお話がありました。ほかの例えば教育委員会とか全般にわたってほかにも出ているのですけど、一応こういうものというのは決まっているのでしょうか。6年以上ということになると、これは単年度だけですよ、そうすると次の更新の時期とかの問題もあるのですけど、そのことは一応決めておかないと、なかなかこのこと自体も後々困ってくるということに、予算をするときにお金がないということになりますですからね。このことはどうされているのか。

それと、廃棄なら廃棄でもそういったようなこと、たしかこれも前に吉國議員さんのほうからあったと思うのですが、どういうふうな形になって、基本的にどういう計画をもって、町の財産を処分されるか、こういういわゆるデジタル家電といいますが、そういうものですね、なっているのかお尋ねをいたします。

議長（福田 洋明君） 山田町長。

町長（山田 健一君） 総務課長のほうから答弁をいたします。

議長（福田 洋明君） 吉賀総務課長。

総務課長（吉賀 康宏君） ただいまの河内山議員の御質問でございますが、まず公用のパソコンの関係でございますが、この予算については行政情報として一人一台パソコンで取り組んでおるという中で、これも今ございましたように、平成14年度に導入した、年次的に全体では約130台ぐらいの一人一台パソコンで取り組みをした中で、14年度の当初の事務用パソコンにつきまして、この辺の機器の不具合がみられるということでございますので、このパソコンの更新をさせていただきたいというのが、この予算の内容でございます。基本的にはこの度はこうした対応をさせていただきますが、今後とも今言われたように、14年度以降の導入もございしますので、この辺は適宜また調査をさせていただいて、不具合のあるものから次の年度にまた購入のお願いをさせていただくようなことになってくるというふうに思っております。この辺につきましては、やはりリースというようなこともございますし、備品購入というそれぞれの対応が今までのやり方ではなかったかというふうに思っておりますが、できるだけこれについても内部協議をさせていただいて、計画をもって、今後導入計画を、一人一台パソコンに対しての導入計画等を策定して対応していきたいと思っております。

それと廃棄については、これも以前質問があったというふうに思っておりますが、これについては中の情報についてはすべて消去するようなことで、廃棄についてはやっております。これに

については、メーカーのほうにその辺の処理については依頼をいたしておりますが、そういったことで内部情報については外部に漏れないような廃棄の方法で対応いたしております。以上でございます。

議長（福田 洋明君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（福田 洋明君） 質疑なしと認めます。

次に、民生費について質疑はありませんか。河内山宏充議員。

議員（12番 河内山 宏充君） ごめんなさい。間違えました。失礼しました。

議長（福田 洋明君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（福田 洋明君） 質疑なしと認めます。

次に、衛生費について質疑はありませんか。河内山宏充議員。

議員（12番 河内山 宏充君） 保健衛生費の中で、インフルエンザ対策の予防費、マスクとか消毒液とか、防護服だったですか、そういうふうな、先般、所管の常任委員会で、県のそういったインフルエンザ対策のマニュアルを見て、だれだれのところまで、どういう形で行くという説明を受けたんですけども、その後、私の医学的所見は持っておりますけれども、ごく普通のインフルエンザ対応で大丈夫ではないかというのが大方の判断ではないかと思えます。

つまり、うがい、手洗い、これがやっぱり第1ではないか。そんなに発熱外来もそれぞれ閉鎖されてますし、一般外来でやられる県のほうの方針もあられますから、そういう情報、対応の変化の中で、このままやられていくのはどうかなというふうに私、実は思っているんです。

むしろ、子供たち高齢者の情報を読みますと1,900年代生まれの方は、抗体をもっているとかいろんな情報が、医学的所見がありませんから今のところ、ただそれを精査すれば、やっぱり、うがい、手洗い、それと湿気、そういうことになると、子供たちがやっぱり守らなければいけない第1のターゲット、対象だろうと思うんです。

そうすると、随分とエアコンとか保育所、またこのたびも、佐賀の児童クラブ等、また子育て支援センターにエアコンをされます。やっぱりこの湿気対策のほうを考えられたほうが、私はそのほうが子供たちが優先するのではないかと思うんですね。この辺のことは、予算化されるときに議論に上がったのか上がってなかったのか、少しお考えを、このインフルエンザ対策に対する町のスタンスを含めて、お尋ねをさせていただければと思います。

議長（福田 洋明君） 山田町長。

町長（山田 健一君） 今回のインフルエンザにつきましては、今現状については、おっしゃるとおりだと思います。ただ発生件数は依然として今発生を全国的にいたしております。ただ耐

毒性といいますが、これは非常に弱いというようなことで、問題はすでに指摘をされていますように、今夏の時期を迎えておりますが、それでも結構県内でも発生をしておるという状況の中で、これから一番心配をされるのは、秋に向けて一つのこのインフルエンザにとって、環境が変化をしていくことによって、場合によっては変異をすることもあるというようなことがよく指摘をされております。

今回も、あれだけ大騒ぎをした日本中の経緯があります。自治体として今できる手をやっぱり考えておくと、我々としても住民の生命・安全に責任を持つ立場からして、できる限りの範囲内で、最大限の警戒心だけは、警戒をもって、できる体制については整備だけはしておこうと、何があっても対応できるようにという、一つの大きなテーマのもとに、確かに現状は今少し治まって、あまりマスクも取り上げないような状況になってきておりますけれども、いつ変異をするかわからないという状況もありますだけに、その辺は警戒をもって対応をしていこうと、したがって今回のこの予算についても、いろいろ庁内でも議論をさせていただきました。最低限のところで、せめて町としても責任を持つ立場からこのぐらいでいきましょうという結論に至ったという状況でございます。

議長（福田 洋明君） 河内山宏充議員。

議員（12番 河内山 宏充君） そうすると、このマスクとか一般の住民の皆さん方にも対象に配布の数もあるということですね。私そういうふうに前の説明の時に捉えていなかったものですから、その辺のところ、お尋ねをしておきます。

それと、済みません、先ほど忘れてたものですから、女性のがん検診の問題なんですけれども、これ5歳ピッチで刻まれて、ちょうど当該年度に該当する方、子宮頸がんが20歳から40歳で5歳刻みで、今年度の対象者が357人と言われたですね。それと、40歳から60歳、5歳刻みで今年度の対象が480人と言われたんですけど、この女性特有のがん、非常に受診率の悪さとか、このがんの恐ろしさ、いろいろな女性の性の問題にも関わって、非常に大きな行政の問題だと思うんですけども、受診率を50%で計算されたというのは、果たしていかがなものなんでしょう。少なくとも安心・安全の観点から言えば、受診率は90%ぐらいで、それは残りの10%はいられなかったのかなと。

それとこの間の国からのほうで、これだけの予算でしかないから、その中での四苦八苦されたこういう施策の展開になったのでしょうか。そのことがよくわかりませんので、できれば私とすればこの間の全女性の方、5歳刻みですとやってらっしゃいますけれども、がんというのは早期発見ということですから、その間のスパンが短ければいいということを思っていますので、その辺のことは議論が上がったのかどうなのかその辺のことを御説明していただければと思います。以上です。

議長（福田 洋明君） 山田町長。

町長（山田 健一君） 健康福祉課長のほうから答弁をいたします。

議長（福田 洋明君） 河野健康福祉課長。

健康福祉課長（河野 孝之君） 1点目の新型インフルエンザの住民への対応についてでございますけれども、マスク等の配布はどうかということでございますが、先ほどもございましたように、現在では毒の弱い季節性のインフルエンザということでございますけれども、強毒性の鳥インフルエンザを想定いたしまして前回の補正についてもお願いしたところでございます。したがって、これの備蓄につきましては、一応今考えているのは職員が現場に行かなければなりませんので、そういったことに対するものとして、今回職員用に70セット、防護服も70セットという考えでございます。

それから、女性特有のがん検診につきましては、50%を想定しているということでございますけれども、この根拠として、このたび、女性のがん検診については、大変受診率が低い、欧米に比べて、欧米は70とか80とか、そういった先ほど言われたような受診率でございますけれども、日本では20%弱ぐらいということが言われておりまして、国の目標では受診率を50%にするということを目指しております。そのために、このたび50%ということをお願いしたところでございます。そうすると、このたびだけの方が対象になるということで、5歳刻みでは不公平が生じるということになっております。今のところ、21年度の健診の事業、実施を見て、国の方ではこれから判断をされるというふうになっておりますけれども、22年度につきましては先月7月1日に厚労省のほうからそういった批判があるということで、22年度予算の計上に向けて、計上するという方向で今決定がなされているようでございます。だから23年度以降についてはまだ未定でございます。以上でございます。

議長（福田 洋明君） 河内山宏充議員。

議員（12番 河内山 宏充君） 今し方のがんの検診のほうなんですけれども、課長さんの立場からすれば、国のほうが50%に目標に上げているから50%でやられた。確かに現場サイドとしてはそれでもいいと思うのですが、この大きな全体の流れで言えば、大きな地域経済活性化の4本柱のうちに女性特有のがん検診推進事業というのがあるんですね。これはやっぱりそれぞれの自治体の、要は噛み砕き具合が大きく左右されていると思うんです。一応総括みたいなお話で、国が50%と言われるからそういう答弁というのは、非常に寂しい感じがするものですから、この中にその50%の啓蒙費も入っているというふうに私自身、理解しましたので、ぜひそのことは達成をしていただきたい。期待しております。そういうことを申し上げて質問を終わります。以上です。

議長（福田 洋明君） 答弁は。

議員（１２番 河内山 宏充君） 要りません。

議長（福田 洋明君） ほかに質疑はありませんか。平岡正一議員。

議員（１１番 平岡 正一君） 今の質問に、若干重なるところもありますが、女性特有の病気に対する検診の問題は、国会でのいろんな動向を知っておりますだけに、あなた方にいろいろ言うのも酷な話ではございますが、最低５年間やらないと、続けないと、５歳単位ですからね、ぐらいいはしないと効果が上がらないのですよね。それについて、当然予算要求をしていくべきだし、地方からも声を上げていくべきだとは思いますが、町長の考えを聞いておきたいと思えます。

それともう一つは、この新型インフルエンザは、私は、誤解をしておりました。今流行っている新型インフルエンザと思えました。先ほど答弁を聞きましたら、いわゆる鳥インフルエンザの対策と言われましたね。ちょっとこれは用語を分けてくれませんか。そうでないと混乱をするような気がしますが、どういう具合に使い分けをしておられるのですか。

議長（福田 洋明君） ここで暫時休憩いたします。午前１０時１５分から再開いたします。

午前 ９時５９分休憩

.....
午前１０時１５分再開

議長（福田 洋明君） 再開いたします。山田町長。

町長（山田 健一君） 女性特有のがん検診の推進事業につきまして、取り組んでいきますが、来年度につきましては、先ほど課長が現況について答弁を申し上げました。政策の整合性といいますが、一つのこれからのことを考えれば、しっかりした体制といいますが、引き続きとっていかれることを、我々とすれば、やるのであれば、やっぱり期待をしていきたいというふうに思いますが、機会あるごとに、その辺の動向については、注視をしながらまた要望もしてまいりたいというふうに思っております。

それからインフルエンザは課長のほうから答弁をいたします。

議長（福田 洋明君） 河野健康福祉課長。

健康福祉課長（河野 孝之君） 言葉の使い分けが大変難しい問題がございまして、少し誤解のあるような言い方をしたかと思えますけれども、御案内のように新型インフルエンザでございますので、鳥インフルエンザが変異したもの、あるいは豚インフルエンザが変異したもの、ともに含むもので今現在はございます。この予算につきましては、先ほど申し上げたように、２月の臨時議会をお願いした時には、鳥インフルエンザが変異する新型インフルエンザということをお願いしたと思えます。その後、豚インフルエンザが変異したものの新型インフルエンザが出てきて、大変な思いをしたわけでございますけれども、これについてはやはり言われているように、弱毒性でございますので、私どもの頭から離れないのは、鳥インフルエンザが変異をする新

型インフルエンザがどうしても頭から離れません。

したがって、このたびそういった緊急に出向いていかなければならないということに備えて、備蓄、物品を備えるということをお願いするものでございます。以上でございます。

議長（福田 洋明君） ほかに質疑はありませんか。岩本ひろ子議員。

議員（3番 岩本 ひろ子君） ここに血圧計の購入に73万4,000円計上してあるのですが、先日の説明では、中央公民館、佐賀公民館、曾根公民館に設置するのに購入ということと言われたと思うのですが、何台ぐらい入れられるおつもりでしょうか。例えば3カ所で1台ずつならこれだけ高くはないと思うのですが、何台ぐらい入れられる予定で、この予算が出たのかお聞きしたいと思います。

議長（福田 洋明君） 山田町長。

町長（山田 健一君） 健康福祉課長のほうから答弁をいたします。

議長（福田 洋明君） 河野健康福祉課長。

健康福祉課長（河野 孝之君） 自動血圧計についてでございますけれども、私ども、町民の健康づくりを扱うといいますが、健康づくりを進めていく上において、それぞれ生涯学習等で学んでおられる方、あるいは健康づくりをされておられる方が、身近なところで、自分の血圧を計るというのは大変いいことだというふうに思っております。そのために、これまでも地区間、中央公民館、大野、曾根、佐賀そして保健センター、この大きな地区間にはそれぞれ設置をしておりました。このたび故障がきということで、中央公民館と曾根と佐賀、3台を揃えたいというふうに思っております。大野につきましては、21年度の当初予算で計上しておりますので、したがってこのたびは3台で、合計は中央、大野、曾根、佐賀、保健センターと、ここに整備をしてきておりますので、これからもそういった方向で整備をしていきたいというふうに思っております。

議長（福田 洋明君） 岩本ひろ子議員。

議員（3番 岩本 ひろ子君） 3台ほど購入されるわけと、今、説明を聞いたんですけど、1台が20万円ぐらいするもんなんですか、血圧計。

議長（福田 洋明君） 河野健康福祉課長。

健康福祉課長（河野 孝之君） 自動血圧計、ピンからキリだろうと思いますが、今考えておるのは、保健センターにあるように、あるいはまた本庁にも設置してありますけれども、手を入れて用紙が出てくるものでございまして、1台あたりが23万3,000円するものでございます。

議長（福田 洋明君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（福田 洋明君） 質疑なしと認めます。

次に、農林水産業費について質疑はありませんか。藤村政副議員。

議員（7番 藤村 政嗣君） 漁港建設の陸こうについてお伺いしたいと思います。これは750万円計上されておりますけれども、この陸こうの規模、どういう陸こうなのか。それと管理はどうするのか、これをお尋ねしたいと思います。

議長（福田 洋明君） 山田町長。

町長（山田 健一君） 建設課長のほかからお答えいたします。

議長（福田 洋明君） 洲山建設課長。

建設課長（洲山 和久君） 佐賀漁港建設事業でございますが、陸こう整備事業として、1カ所750万円、計上しております。これは高潮対策として現在、差板、角落としということになっておりますのを、水密性が高く丈夫な横引きゲート、ステンレス製へ改良する予定でございます。これにつきましては、高さが1m40、長さが2m50でございます。海岸保全で佐賀漁港のほうにやっておりますステンレス製と同じような形でやっていきたいというふうに思っております。

管理につきましては、どなたということで決めてはおりませんが、近隣のお方、磯部さんが近くにおりますので、一応その方と交渉していきたいというふうに思っております。

議長（福田 洋明君） 藤村政副議員。

議員（7番 藤村 政嗣君） 緊急経済対策交付金でやるということですが、従来は計画は、よく陸こうは、いると思うんですが、従来の形はどういう形だったのですか、計画としては、たまたま経済対策交付金が出るからステンレスに変えたとかそういうあれですか。その辺をちょっとお聞きしたいと思います。

議長（福田 洋明君） 洲山建設課長。

建設課長（洲山 和久君） 従来は角落としということでありましたが、たまたま臨時交付金事業がありましたので、これでやっていきたいというふうに思っております。よろしくお願ひします。これからも、順次計画的にはやっていきたいと思いますが、この事業で乗かっていきたいというふうに思っております。

議長（福田 洋明君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（福田 洋明君） 質疑なしと認めます。

次に、商工費について質疑はありませんか。河内山宏充議員。

議員（12番 河内山 宏充君） 観光費。大星山の展望台の外壁は、建って何年ですか。私、何遍も上がるのですが、見た感じどうなんだろうと、素人で見た感じ。外壁よりも観光行政の場

合、いつかこの特産品からずっと大野へ行って、大星山まで上がるのが観光ルートの大きな目玉で整備していきたいと。そうなるはずと思っているのですが、町内には特産品のところにトイレはありますが、山の上へ行ってトイレがないですね。これはやっぱり一番大きな問題ではないかなというふうにはずっと思っていたんです。たまたま経済活性化対策、エコ対策としてもやられていますから、私、お話しはしなかったですが、エコトイレの設置も十分考えられるなど、個人的に思っていたのですけれども、そういったことは全然話の話題にもならなかったのかどうか、現状の提案されている外壁の改修の根拠もあわせて、先の観光行政に対する展望も含めてお話をいただければと思います。以上です。

議長（福田 洋明君） 山田町長。

町長（山田 健一君） 経済課長のほうからお答えいたします。

議長（福田 洋明君） 中本経済課長。

経済課長（中本 羊次君） 今、御質問のありました大星山の展望台につきましては、昭和62年度に山頂公園として開発いたしまして、翌年の63年5月にハートランドひらおを大星山公園としてオープンさせております。約20年の月日が経過しておりまして、外壁等もかなり風化しておりますので、このたび改修を行いたいと考えておるところでございます。

また、トイレにつきましては、今、箕山と大星山にはトイレが設置されておるところでございます。以上でございます。

議長（福田 洋明君） 河内山宏充議員。

議員（12番 河内山 宏充君） トイレが設置されているのは、重々承知してらるんですよ。ただ、観光の拠点としてどうなのかということですね、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業ということですよ。その中で町の将来にわたる大きな基本づくり、町づくりの基本としてどうなのかということ、そういうお考えがあったのかなということ。ないというのがよくわかりました。

ところで、コンクリートの住宅ですね、20年、外壁の補修、そうすると、いろいろコンクリートの建物がどうなのか、所管は専門ではありませんけれども、どうなのかと、私ずっと思っているもので、その辺のところは所管で管理されるお立場としてどのようにお考えか。コンクリートの構造物がああいうところで、20年ぐらいで、風化する、劣化するということですね。その品質はどのようのって環境面の範囲の中でどのようなお考えが、もしあれば、あればいいです。お尋ねをさせておいていただいて終わります。

議長（福田 洋明君） 中本経済課長。

経済課長（中本 羊次君） 今、予定しております外壁の改修でございますけど、今言われますように、コンクリートの中に鉄筋が入っていると思うんですけど、その辺の錆び鉄筋の補修と

か、外壁の目地とか、そういったところも今回の塗装にあわせてやっていきたいと今考えております。また、今後も建設課と一緒に協議しながら進めてまいりたいと思っておるところでございます。

議長（福田 洋明君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（福田 洋明君） 質疑なしと認めます。

次に、土木費について質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（福田 洋明君） 質疑なしと認めます。

次に、消防費について質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（福田 洋明君） 質疑なしと認めます。

次に、教育費について質疑はありませんか。細田留美子議員。

議員（8番 細田 留美子君） デジタルテレビやパソコン、電子黒板を買われる予定という備品購入で、予定というふうに聞いておりますけど、台数を、小学校、中学校あわせてのテレビの台数と、それから購入方法をお願いいたします。

議長（福田 洋明君） 福本学校教育課長。

学校教育課長（福本 達弥君） デジタルテレビの購入台数ということで、平生小が8台、佐賀小が12台、平生中学校が7台でございます。購入方法といたしましては、地元業者での入札ということで考えております。以上です。

議長（福田 洋明君） 細田留美子議員。

議員（8番 細田 留美子君） 電子黒板はもうそういった形でやられるんだと思うんですけど、電子黒板の数と、それからあれは使用は普通の教師でそのまま対応できるものなのか。結構、使用するのに技術がいるんじゃないかというふうに聞いてはいるのですが、そのあたり、どういふふうなことで電子黒板を購入されるのでしょうか。何をねらって。

議長（福田 洋明君） 福本学校教育課長。

学校教育課長（福本 達弥君） 電子黒板につきましては、各校1台、小・中1台ということで考えております。先生が使えるかということでございますけれども、デモンストレーションを私たちも見せていただきましたけれども、これは十分先生で可能というふうに考えております。画面を直接手で、タッチパネル式になってまして、すごく子供にも授業を理解できやすいような形で使えるというふうに考えております。

議長（福田 洋明君） ほかに質疑はありませんか。平岡正一議員。

議員（11番 平岡 正一君） 朝ほど、河内山議員からも質問がございましたが、学校の建てかえの件ですが、こういう選択をされたこと自身は、私は評価をしております。特に、この学校のリース料なんていうのは、本来ここまでみてくれるなどとは、予測もしていない金額ですから思うのですが、この仮設校舎1億6,000万円の中身をちょっと説明してもらえませんか。

議長（福田 洋明君） 福本学校教育課長。

学校教育課長（福本 達弥君） 仮設校舎の借上料の内訳ということでございますが、1億6,000万円ということで、これは2棟分になります。両方とも2階建てでございます。一つが600平米で、もう一つが1,200平米。内訳ですけれども、設置工事費が2棟分でございますけれども、8,577万円、リース料が4,184万円、解体工事費が1,870万円、あと諸経費を含めて1億6,000万円ということでございます。

議長（福田 洋明君） 平岡正一議員。

議員（11番 平岡 正一君） 今、仮設の工事費8,000万円という話でございましたが、中身はまだ持っておられると思うんですが、例えば仮設校舎を作れば、大変な校舎だけではないんですよ。まず情報通信設備、電気設備、それから給排水設備、そういったもろもろの工事費も皆含まれているでしょうかね。

それと一番気になるのが、各部屋にたぶん空調がつくと思うのですが、その受電契約の容量が今の、かなりの量になると思いますから、それだけ空調をもっていないですから、そういったことに対する対応とかそういった点はどうなっておりますか。

議長（福田 洋明君） 福本学校教育課長。

学校教育課長（福本 達弥君） 金額につきましては、当然備品関係、黒板とかロッカーとか下駄箱とかそういった備品関係も含めておりまして、当然給排水設備、こういったものも含まれております。受電設備におきましてもこの金額に含めております。

議長（福田 洋明君） 平岡正一議員。

議員（11番 平岡 正一君） 工事費まで皆ちゃんと入っているんですかね。例えば、受電設備の場合は、契約するのに随分金額がかかりますよね。あとなくなったら、なくなりますよね、仮設校舎が。そういったものがどうなっていくのか、工事費はあと自分で持ちなさいということになっているのではないでしょうね、施設はあるが。そういった今言った設備の工事費、リースを全部そろえて工事も先方さんでやってくれて、ただ借り上げるだけと、撤去したときもあと実際お金がかからないという契約になっているのかどうか、それだけ確認しておきたいと思います。

議長（福田 洋明君） 福本学校教育課長。

学校教育課長（福本 達弥君） これは、もちろん契約は今からでございますので、今議員さんが言われたことを踏まえて、よく研究して計画をさせていただきたいと思います。

議長（福田 洋明君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（福田 洋明君） 質疑なしと認めます。

次に、諸支出金について質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（福田 洋明君） 質疑なしと認めます。

次に、給与明細書から地方債の調書まで、一括質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（福田 洋明君） 質疑なしと認めます。

続きまして、特別会計予算について、質疑を行います。

議案第2号平成21年度平生町簡易水道事業特別会計補正予算及び議案第3号平成21年度平生町下水道事業特別会計補正予算について一括質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（福田 洋明君） 質疑なしと認めます。

続きまして、議案第4号物品の買入れについての件について質疑を行います。

質疑はありませんか。平岡正一議員。

議員（11番 平岡 正一君） 7月に入札をされたという先ほどの話ですが、入札にあたっての例えば予定金額、応札業者等、答えられる範囲内でいいですから、どういう状況だったのか。

議長（福田 洋明君） 山田町長。

町長（山田 健一君） 総務課長から答弁します。

議長（福田 洋明君） 吉賀総務課長。

総務課長（吉賀 康宏君） 今の御質問でございますが、冒頭町長のほうからも提案説明ございましたとおり、昭和62年度に平生町消防団の本部のほうに、配賦をした消防ポンプ車について、このたびお願いを申し上げているところでございます。県内の業者3社でございますが、周南のほうは2社、宇部の業者が1社、3社で入札をさせていただきました。今のお示しをさせていただいておりますとおり、ハツタのほうで落札したということでございますが、予定価格といいますが、物品の購入等については、予算の額で対応させていただいております。予算額が1,590万円でございます。このたびの入札が1,575万円というような内容でございます。ただ、内容的に、今の現状の消防ポンプ車については、ベース車両は、サファリといひまして、日産のベース車両で、いろいろな艤装等、いろいろなポンプをつけたり、いろいろな特殊車両でござ

ざいますので、そういったことでの内容で、かなりの付属品といいますか、そういった装備がで
てきます。そういったことで、こういった金額になっている内容でございます。以上ございま
す。

議長（福田 洋明君） ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（福田 洋明君） 質疑なしと認めます。

これをもって、質疑を終了いたします。

これより、討論に入ります。まず、本案に対する反対討論の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（福田 洋明君） 反対討論なしと認めます。

次に、本案に対する賛成討論の発言を許します。河内山宏充議員。

議員（12番 河内山 宏充君） それでは、平成21年度平生町一般会計補正予算、賛成の
立場から討論させていただきます。

まず、初めに町御当局におかれましては、他市町にさきがけ迅速な対応で、補正予算のお組み
を御提案していただきましたことに敬意を表するものでございます。

ただ、私自身、本日の議会の中で議論してまいりました。将来にわたる町づくりの基礎が、こ
の中で提案されてないということ、多少不満はあります。ただその迅速性の優劣を比べると、や
はり迅速性を立てなければならぬだろうということ、多少の不満はあります。町御当局にお
かれましても、町の発展、町づくりに対して、常に準備していくことの大切さを今改めて、私自
身申し上げている、私自身に言い聞かせているとともに、町御当局のほうにも強く申し入れをさ
せていただきたいと思っております。このことを申し上げさせていただきますと、平成21年度平生町
一般会計補正予算に対する賛成の立場からの討論といたします。以上です。

議長（福田 洋明君） 本案に対する反対討論の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（福田 洋明君） 反対討論なしと認めます。

次に、本案に対する賛成討論の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（福田 洋明君） 賛成討論なしと認めます。

これをもって、討論を終了いたします。

これより、採決に入ります。議案第1号平成21年度平生町一般会計補正予算の件を、起立に
より採決いたします。

本案は、原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（福田 洋明君） 起立全員であります。

よって、議案第1号の件は、原案のとおり可決されました。

次に議案第2号平成21年度平生町簡易水道事業特別会計補正予算及び議案第3号平成21年度平生町下水道事業特別会計補正予算の件を一括起立により採決いたします。

本案は、原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（福田 洋明君） 起立全員であります。

よって、議案第2号及び議案第3号の件は、原案のとおり可決されました。

次に議案第4号物品の買入れについての件を起立により採決いたします。

本案は、原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

議長（福田 洋明君） 起立全員であります。

よって、議案第4号の件は、原案のとおり可決されました。

議長（福田 洋明君） 以上をもって、本臨時会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。

これにて、平成21年第5回平生町議会臨時会を閉会いたします。

午前10時44分閉会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議 長 福 田 洋 明

署名議員 河 藤 泰 明

署名議員 大 井 哲 也